

5-⑫ 特色ある学校づくりを推進する

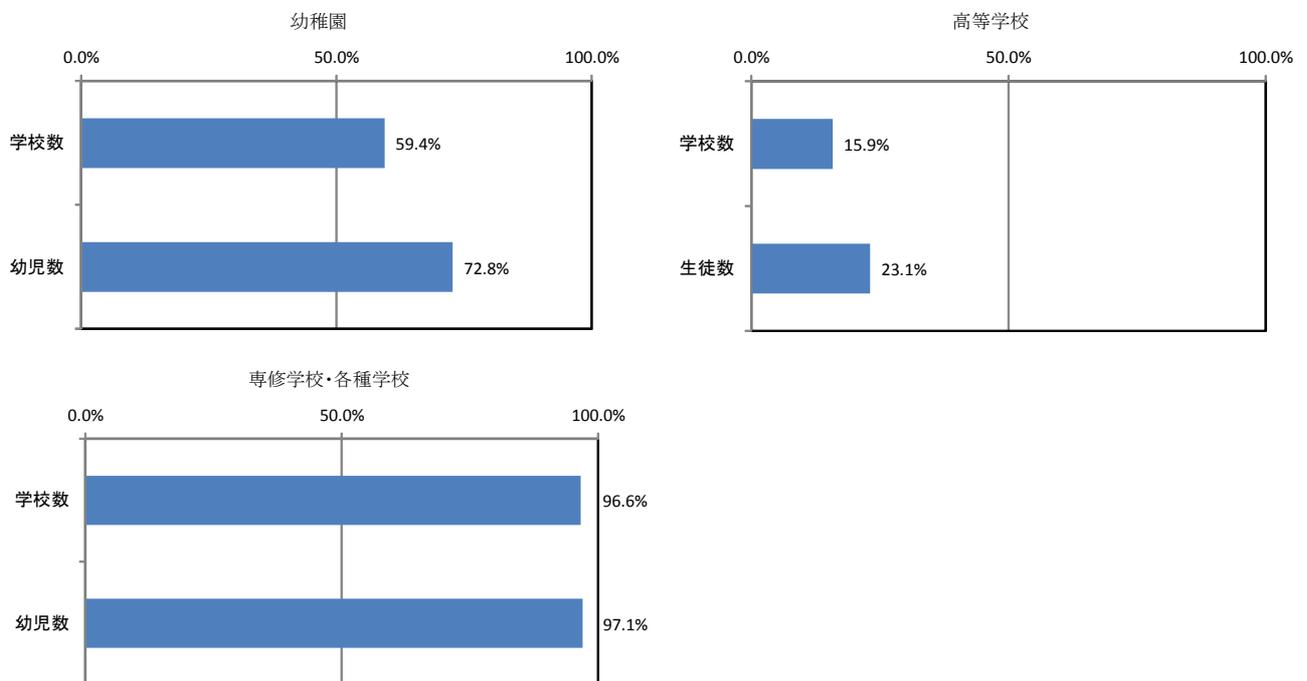
取組 29	私立学校の振興
-------	---------

【担当所属：学事法制課】

1 現状

- (1) 本県には、小学校1校、中学校6校、高校（全日制）13校、高校（通信制）1校、特別支援学校1校の計22校の私立学校があり、15,468人の児童生徒が学んでいます。また、私立幼稚園は123園あり、15,656人の幼児が通っています。
- (2) さらに、専修学校61校、各種学校25校の私立学校が職業教育や生涯学習等幅広い教育を提供しているほか、大学10校、短期大学8校の私立学校が高等教育を提供しています。
- (3) 幼児数及び生徒数では、幼稚園は全体の約73%、高校（全日制）は約23%、専修学校・各種学校は約97%を私立学校が占めており、本県の教育に重要な役割を果たしています。  
(学校数及び生徒数は平成25年5月1日現在の学校基本調査による（休校中のものは除く。))

<本県の学校教育における私立学校の割合>



- (4) 私立の特徴である、建学の精神に基づく特色ある教育を行う中で、勉学やスポーツにおいて、めざましい成績を残している学校が数多くあります。
- (5) 専門知識・技術を習得できる専修学校の卒業生は、即戦力として高く評価されています。
- (6) 私立の独自性を発揮する一方で、本県全体の課題については、「いじめ問題対策推進事業」を公立学校と共に実施するなど、連携して取り組んでいます。

2 課題

- (1) 私立学校等児童生徒の保護者負担の軽減を引き続き図ること
- (2) 子ども・子育て支援新制度（平成27年4月開始予定）による支援を着実かつ円滑に実施すること
- (3) 少子化の中での教育条件の維持向上、修学上の経済的負担の軽減及び経営の健全化を目的とした財政的支援を継続すること

### 3 取組の方向

- (1) 国の私立高等学校等就学支援金制度に所得制限が導入された後も保護者の教育費負担の軽減に努めます。
- (2) 子ども子育て支援新制度（平成27年4月開始予定）の着実かつ円滑な導入を図ります。
- (3) 私立学校における教育条件の維持向上や保護者負担の軽減を図るとともに、学校経営の健全性が高まるよう支援します。
- (4) 私立学校と公立学校が連携した全県的な取組を様々な分野で推進します。

### 4 主な取組内容

- (1) 保護者の教育負担の軽減について、県単独の対策を継続して実施していきます。
- (2) 子ども子育て支援新制度について、国等からの情報収集に努めるとともに説明会等を開催して、周知を図り制度への適切な対応を図ります。
- (3) 教員人件費等の経常的経費に対する助成を行い支援します。
- (4) 公立学校と連携が可能な取組について、私立学校に情報提供を行い、積極的な参加を働きかけます。

### 5 達成目標

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
(1) 経常費補助金の補助単価水準 (生徒1人当たり補助単価水準)	補助単価の全国順位 ・高等学校 4位 ・幼稚園 2位	補助単価水準の維持

### 6 教育委員会と連携した取組

- (1) 「いじめ問題対策推進事業」では、県内すべての学校（私立、国立学校を含む）における、児童生徒による自主的ないじめ防止活動を支援することを通して、児童生徒のいじめを許さない気持ちや態度の育成を図っています。  
(義務教育課)



平成25年度 いじめ防止サミットの様子

- (2) 「群馬県高等学校総合文化祭」では県内の公立高校、特別支援学校高等部及び私立高校の文化部等で活動する生徒が、発表・展示・競技・交流会等を通して相互に理解を深め、芸術・文化活動の活性化を図っています。  
(高校教育課)



群馬県高等学校総合文化祭 総合開会式の様子

